

基本情報

時間割コード／Course Code	101768
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
曜日・時間／Day and Period	月4
開講科目名／Course Name (Japanese)	日本語教育学講義IIIb
教室／Room	E 1 0 6
開講科目名(英)／Course Name	Lecture on Japanese Language Education IIIb
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	10FOST3BR01
単位数／Credits	2.0
年次／Student Year	2,3,4年
担当教員／Instructor	真嶋 潤子

授業担当教員一覧

詳細情報

講義題目／Course Name	年少者へのバイリンガル教育・継承日本語教育
開講言語／Language of the Course	日本語
授業形態／Type of Class	講義科目
授業の目的と概要／Course Objective	日本語教育に必要な国内の児童生徒について、バイリンガル教育・継承語教育としての現状や課題、評価法、指導法を学び、考える。年少者教育を、社会的課題として捉え、言語教育政策への理解も深める。
学習目標／Learning Goals	日本語教育における第二言語習得研究や、年少者への日本語と母語のバイリンガル教育に関する基礎知識を確認しながら、言語習得と言語教育政策についての諸問題を考えられるようになる。その分野の論文を批判的に読むための目を養う。また、自分で言語習得やアイデンティティに関する興味・疑問を元に、研究課題を設定して調査を行い、報告する。
履修条件・受講条件／Requirement / Prerequisite	「日本語教育学入門a, b」「日本語・日本文化を考えるD」「日本語教育学概論」のいずれかを履修済みであること。 日本語教育学講義IIIaを履修済みであることが望ましい。 個別の事情があれば、相談に乗ります。
授業計画／Class Plan	第1回 オリエンテーション 2-3 国内の「日本語指導が必要な児童生徒」の現状と課題 4-5 バイリンガル教育の定義と分類 6 継承語教育とは 7-8 言語教育とアイデンティティ 9-10 海外のバイリンガル教育（カナダ、アメリカ、オーストラリアほか） 11-12 国内の事例研究 13-14 レポート発表 15 総括
授業外における学習／Independent Study Outside of Class	・事前に授業のテーマに関する論文または本の章を読んでくること。 ・授業のテーマに関連のあることを調べて分析し、発表できるように準備すること。 具体的には、授業中に指示をする。
教科書・教材／Textbooks	中島和子 2016『バイリンガル教育の方法 完全増補版』アルク
参考文献／Reference	迫田久美子 2002『日本語教育に生かす第二言語習得研究』明石書店 小柳かおる 2004『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク 宮崎幸江編 2014『日本に住む多文化の子どもと教育 ―ことばと文化のはざままで生きる―』上智大学出版 真嶋潤子編著2019『母語をなくさない日本語教育は可能か ―定住二世児の二言語能力―』大阪大学出版会 その他は授業で紹介する。
成績評価／Grading Policy	出席＋授業貢献度（発言数） 40％ 学期末の課題発表 30％ 期末レポート 30％ （発表とレポートについての評価項目、基準は授業中に配布する。）
コメント／Other Remarks	特になし。
特記事項／Special Note	特になし。
実務経験のある教員による授業科目／*	

授業担当教員

教員氏名／Instructor Name	所属・職名・講座名／Affiliation, Title, Course	e-mail／E-mail
データがありません		

学生への注意書き